

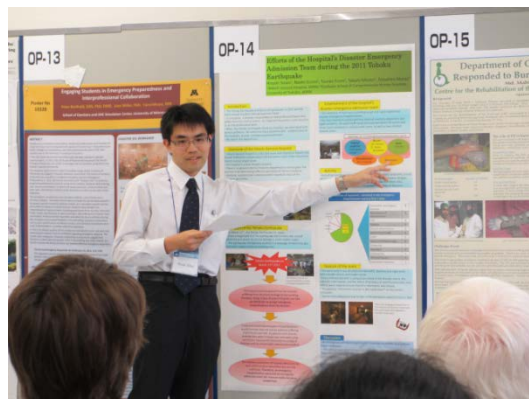
大学院（地域医療教育学分野） H24 年度活動報告

地域医療教育学分野は「地域医療・総合診療・家庭医療、医学教育分野の領域において、研究テーマの設定、研究の計画・実施、結果解析、論文発表のプロセスの実践を通して、独立して研究を実施・指導できる能力を修得する」ことを教育目標として、リサーチセミナー、臨床研究勉強会を開催した。

今年度は、平成 21 年 2 月に開設された本教室の第 1 期生である 22 年度博士課程入学生が 3 年次に進級し、6 月に 3 名が本教室初となる中間審査に臨み 3 名全員が合格となり、学位審査に向けてのステップを着実に進めることができた。

学会発表としては、第 3 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(福岡)、第 44 回日本医学教育学会大会(横浜)などの関連学会で、本教室から多数の演題発表を行うことができた。また、神戸で開催された、チームケア・チーム医療のための国際学術集会 All Together Better Health (ATBH) VI に参加し、当教室から 4 演題を発表することができた。

All Together Better Health (ATBH) VI



リサーチセミナー

毎週金曜日 14:30-17:30、地域医療システム研究棟 2F 討議室にて開催した。内容は、研究計画検討および進捗報告、関連論文の抄読会を行った。24 年度は博士課程に 1 名の大学院生が入学し、リサーチセミナーがさらに活気に満ちたものとなった。

<Trainer>

前野哲博、高屋敷明由美、前野貴美、釋 文雄、徳田安春

<Trainee>

大学院生

博士課程 3年次 栗原宏、高木博、中澤一弘

2年次 河村由吏可、鈴木 広道、宮澤麻子、伊藤 慎

1年次 木下賢輔

修士課程 2年次 皆吉智之

<スタッフ>

阪本直人、横谷省治、小曾根早知子、堤 円香

臨床研究勉強会

24年度からは、各自が研究計画を発表するスタイルの勉強会ではなく、研究手法を集中的に学べる半日～1日コースの勉強会やWSを計画することとし、24年度は2回の勉強会を開催した。

第1回

日時 平成24年6月23日(土) 13:00-17:00

場所 筑波大学

健康医科学イノベーション棟 105

テーマ 論文の書き方

講師 徳田安春先生

概要

英文論文の書き方について、ワークショップ形式で大変実践的に学ぶことができました。英文論文執筆となるととてもハードルが高く思えますが、なんだかやる気が出てきました！30名近くが参加し、大盛況でした。



第2回

日時 平成24年12月15日(土) 10:00-17:00

場所 筑波大学 地域医療システム棟2階討議室

テーマ 質的研究ワークショップ

講師 錦織 宏 先生(京都大学医学教育推進センター)

概要

私達の日頃の診療、教育に関わる領域では、質的研究のニーズが高いと感じます。

コース A: 質的研究について聞いたこともない人

コース B: 質的研究について勉強したことはあるが、実際に研究計画書を書いたり、研究を実施したりしたことのない人

コース C: 質的研究について実際に研究を進めている人

の3コースに分かれ、「各自の日常疑問を一步でも研究に近づける」ことをゴールに、レクチャーとワークショップ形式で実践的に学ぶ機会となりました。



当日は自分の興味のあるテーマについて、懇親会の時間まで活用し、全員がプロトコル発表を行うことができました。各自の研究が着実に一步、前進したと感じられたのではないかと思います。各自が持ち寄ったテーマはアドバンス・ケア・プランニングや医学教育に関わるものなどバラエティに富んだものでしたが、錦織先生には全てのプロトコルに的確なご助言、キーとなる関連文献をご教示いただき、大変貴重な機会となりました。

(地域医療教育学分野 前野貴美)